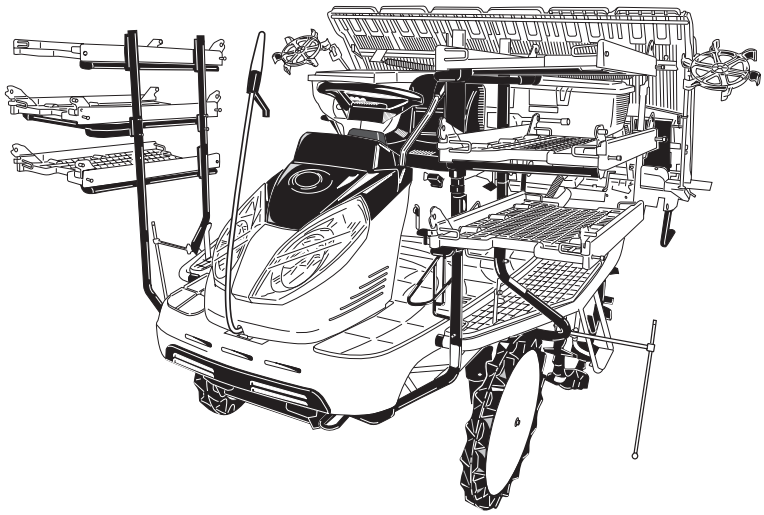
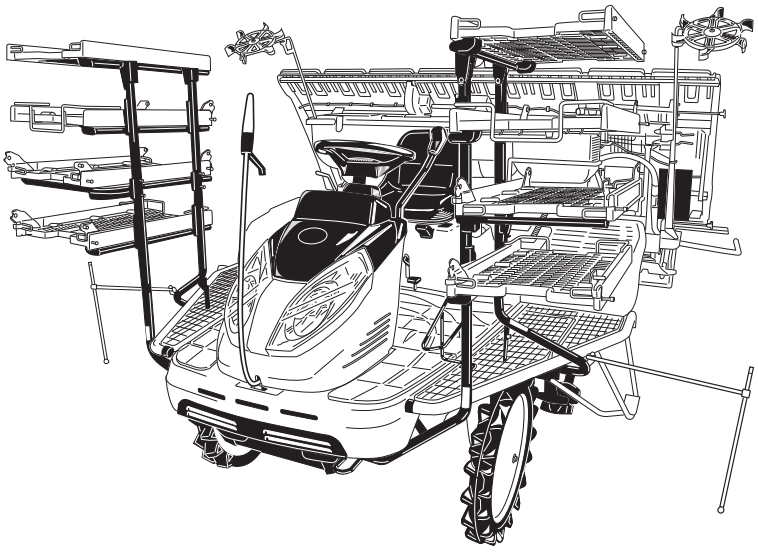
自動植付･二段ポンパ　取扱説明書
NSU55･65･67･87-SP2

このたびはクボタ製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は，**クボタ田植機NSU55･65･67･87-SP2**について特に異なる取扱い方法についてのみ説明してありますので，その他の説明については，本編のNSU55･65･67･87の**［取扱説明書］**をご覧ください。



1AKACAZAP0600

［65 (6条植え) ］



1AKACAZAP0620

［87 (8条植え) ］

AO. K. 4-8. 12. K　品番 PR000-9771-3

作業装置の名称と取扱い

注　意

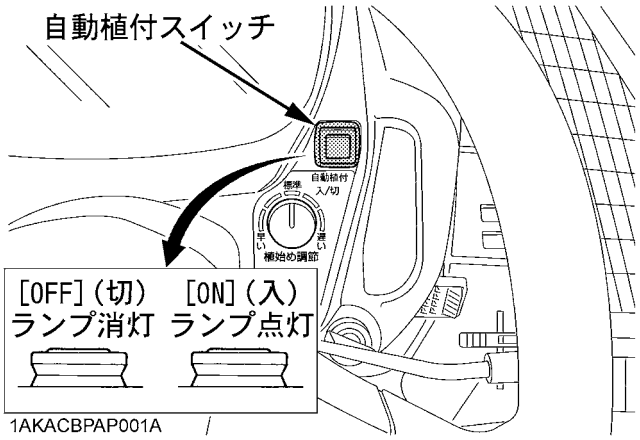
＊ 自動昇降する植付部に接触しケガをするおそれがあるので，機械の近くに人がいるときや運転者が運転席から離れるときは，自動植付機能を停止してください。

作業装置の名称とはたらき

■自動植付スイッチ

植付け作業中の旋回時，ハンドルを旋回方向に操作すると，植付部が上昇して植付クラッチが**【切】**になります。旋回後にハンドルを戻すと植付部が下降して，そのまま直進すると植付クラッチが**【入】**になります。

自動植付スイッチ**【ON】（入）**
……ランプが点灯し，自動植付が働きます。
自動植付スイッチ**【OFF】（切）**
……ランプが消灯し，自動植付が停止します。

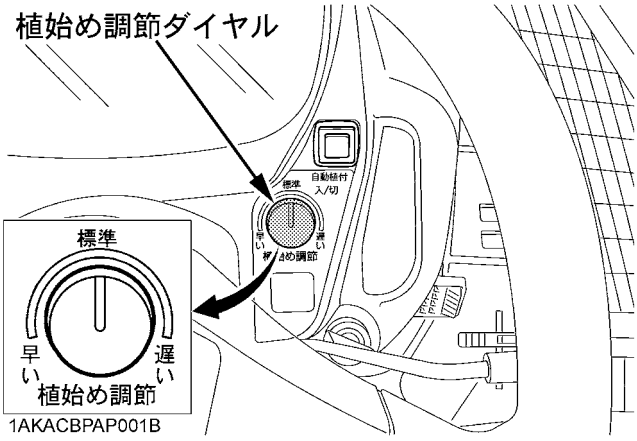


重　要

＊ 施肥作業では，自動植付時も植始めは低速で行なってください。
＊ 高速で植始めると植始めに対し，施肥始め位置が遅れ施肥ムラになります。

■植始め調節ダイヤル

自動植付スイッチが**【ON】**の時，旋回後の植始め位置を前後に（無段階に最大 80cm）調節するためのダイヤルです。



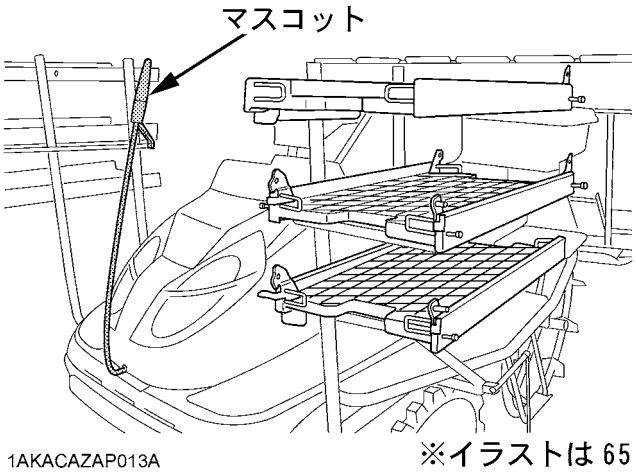
補　足

＊ ほ場条件（スリップ状態など）や運転操作方法に応じて，ダイヤルで植始め位置を調節してください。
＊ 変形田や深田，粘土質のほ場など植始め位置が揃わない条件では，ポンパレバーで植付操作，マーカ操作をしてください。
＊ 施肥作業では，植始め調節ダイヤルを少し早目に設定してください。

■マスコット（安心マスコット）

マスコットは，ラインマーカで引かれた線上を直進していくための目印となるものです。
また，「自動」，「植付クラッチ」の作動状態をランプで表示します。

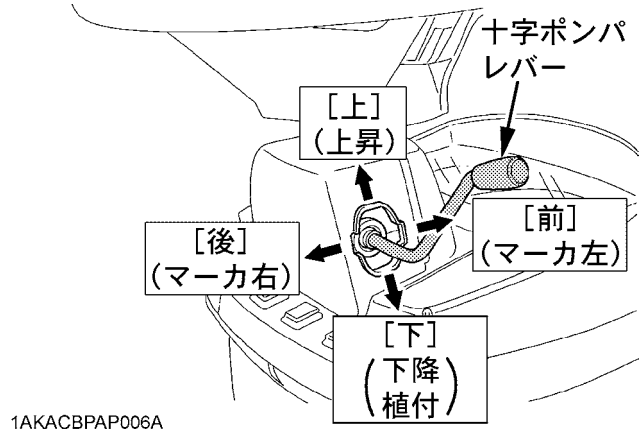
ランプ点灯…自動**【ON】**，植付クラッチ**【入】**
ランプ点滅…自動**【ON】**，植付クラッチ**【切】**
ランプ消灯…自動**【OFF】**



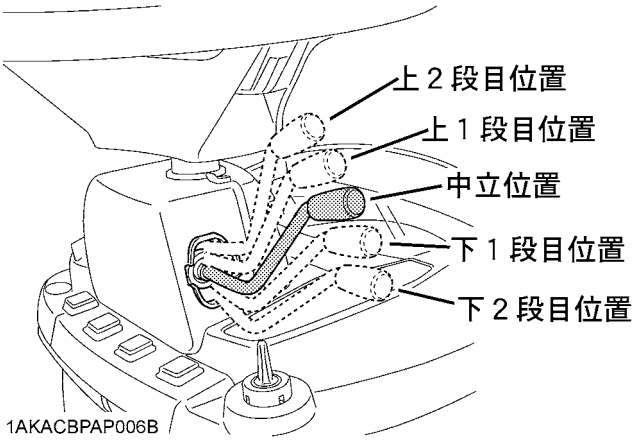
※イラストは 65

■十字ポンパレバー（二段）

エンジンが始動中に植付部（苗のせ台）の**上昇・下降**，動力伝達の**入・切**，ラインマーカのセットを操作するレバーです。操作するときは，**上･下・前・後**各方向に軽く押したあと離してください。



1AKACBPAP006A



1AKACBPAP006B

上［上昇］…… 植付部の駆動が停止し，植付部が上昇します。

補　足

＊ **上１段目**位置にレバーを上げると，上げている間だけ植付部が上昇します。
植付部を一気に最上昇位置にするには，**ピッ**と音が鳴る**上２段目**までレバーを上げてください。

下［下降］･［植付］… 植付部が下降します。そのあと，再度操作すると植付部が駆動します。（爪が回転し，苗のせ台が横送りします。）

補　足

＊ **下１段目**位置にレバーを下げると，下げている間だけ植付部が下降します。
植付部を一気にフロートが接地するまで下げるには，**ピッ**と音が鳴る**下２段目**位置までレバーを下げてください。
もう１度レバーを**下２段目**位置まで下げると，**ピッピッ**と２回連続音がして植付部が駆動します。

前［マーカ左］…… 植付部が下降状態のとき，操作するとラインマーカが**左**（**前**方）又は，**右**（**後**方）に倒れ（セット）ます。
後［マーカ右］

重　要

＊ レバーは軽く操作してください。強く操作するとレバーの破損やスイッチの故障によるトラブルの原因となります。

補　足

＊ 植付部が接地している状態で，主変速レバーを**［N］（中立）**位置より**［後進］**側に操作すると，植付部の駆動が停止し，植付部が上昇します。（バックアップ機能）
＊ 植付部を上昇させるとラインマーカは自動的に収納されます。

［NSU67・87］

＊ マーカ使用時にポンパレバーを操作すると，ラインマーカの左（前方）又は右（後方）が**［収納］**位置に戻ります。

［NSU67・87］

■ロータ自動スイッチ

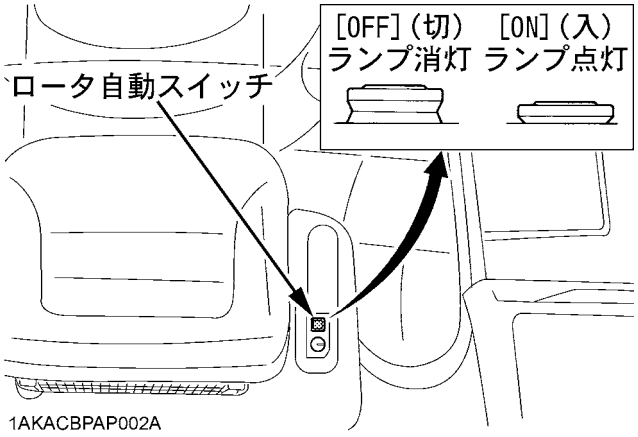
整地ロータの昇降を制御するスイッチです。
スイッチを押すとランプが点灯します。

ロータ自動スイッチ **[ON]（入）**

…… ランプが点灯し，植付クラッチと連動して整地ロータが昇降します。

ロータ自動スイッチ **[OFF]（切）**

…… ランプが消灯し，整地ロータを格納位置に保持します。



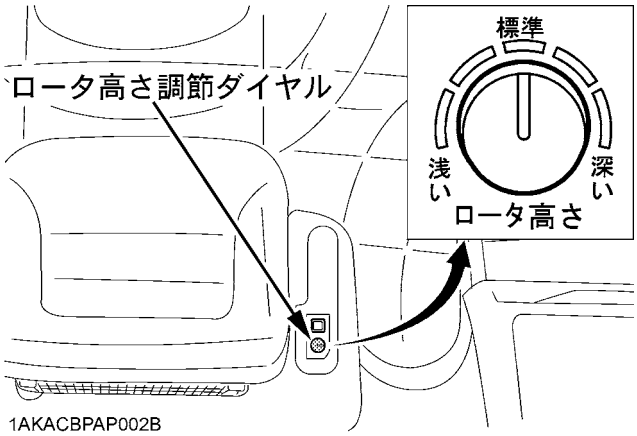
1AKACBPAP002A

補　足

＊ 整地ロータの昇降は，植付クラッチ **[入]** で下降し，植付クラッチ **[切]** で上昇します。

■ロータ高さ調節ダイヤル

整地ロータの高さを微調節するダイヤルです。整地ロータは，ほ場の車輪跡の整地を行ない，植跡をきれいにするためのものです。ほ場条件によりダイヤルを切換えて整地ロータの高さ（ほ場上面からの高さ）を変えてください。

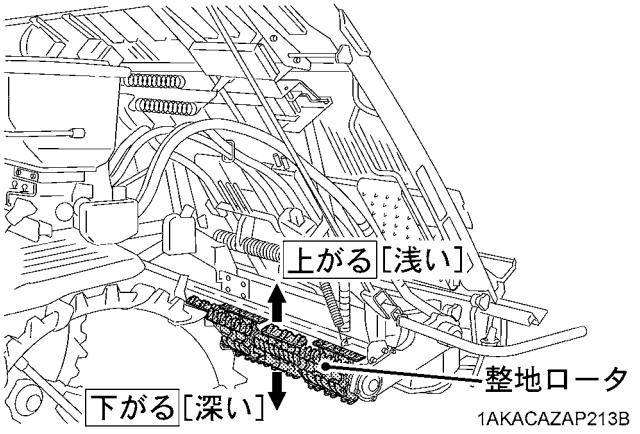


1AKACBPAP002B

補　足

＊ ほ場条件によっては，ロータ自動スイッチを **[OFF]** にし，ロータを格納位置にした方がきれいに植付けられる場合があります。

＊ 整地ロータ高さ調節ダイヤルを操作すると整地ロータの高さが変わります。ラベル表示の **[深い]** の方向に切換えると整地ロータは下がり，**[浅い]** の方向に切換えると整地ロータは上がります。



1AKACAZAP213B

田植作業のしかた

植付作業のしかた

■植付作業の手順

◆ 自動植付作業のしかた

● 自動植付スイッチ…**［ON］（入）**
スイッチのランプが点灯

● ポンパレバーを次の順に操作する。

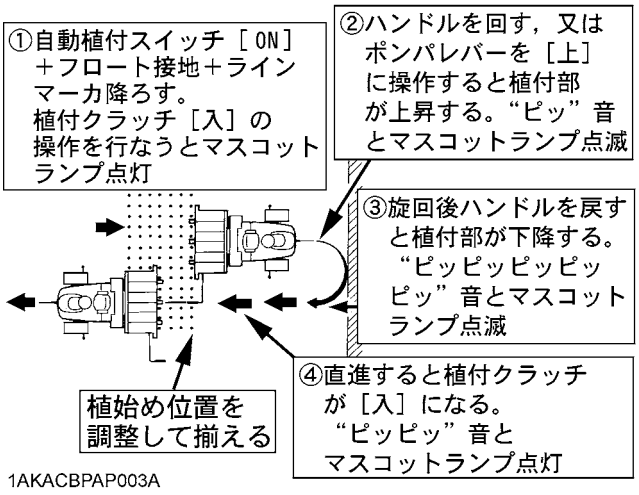
1. **［下］**に操作 ……フロートを接地させる。
2. **［前･後］**に操作……マーカを降ろす。
3. 再度**［下］**に操作…植付クラッチ**［入］**

①上記の操作をすると，自動植付作業ができるようになります。このときマスコットランプが**点灯**して自動植付作業ができることを示します。

②自動植付作業中に「ハンドルを旋回方向に操作する」,「バックアップ機能を使う」,「ポンパレバーを**［上］**に操作する」のいずれかを行なうと，**ピッ**とブザーが鳴り植付部が上昇すると同時に植付クラッチが**［切］**の状態になります。このときマスコットランプが**点滅**してラインマーカが収納されて，植付クラッチが**［切］**であることを示します。

③マスコットランプが**点滅**している状態で，旋回後にハンドルを直進方向へ戻すと**ピッピッピッピッピッピッ**とブザーが鳴り植付部が下降します。

④植付部が下降後に直進すると**ピッピッ**とブザーが鳴り植付クラッチが**［入］**となると同時にラインマーカが降ります。このとき再びマスコットランプが**点灯**し自動植付作業ができることを示します。



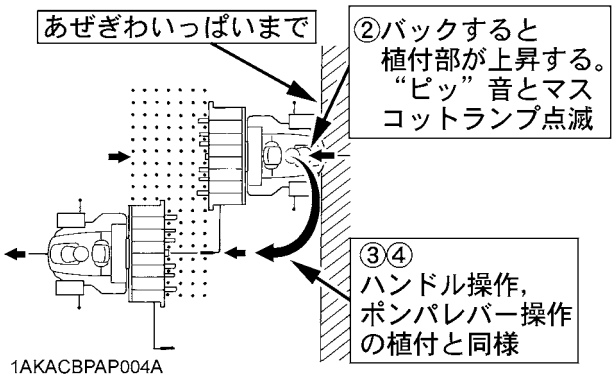
1AKACBPAP003A

重　要

自動植付作業時は，次の昇降動作に注意して植付部をあぜなどに当てないようにしてください。

＊ 自動植付作業中に直進方向から 3/4 回転以上ハンドルを操作すると，植付部が上昇します。

＊ 旋回後に直進方向から 3/4 回転以下までハンドルを戻すと植付部が下降します。



1AKACBPAP004A

補　足

＊ マーカを倒さず作業を行なったときは，自動植付が働きません。
枕地植え作業，路上走行，あぜでの出入り時などで不意に植付部が昇降しないようにしています。

＊ 自動植付スイッチ**［ON］**で，マスコットランプが点滅中に次のいずれかの作業を行なった場合は，自動植付が解除され，マスコットランプが消灯します。
- 10m 以上前後進を行なった。
- ポンパレバーを上下に操作した。

上記の場合，ポンパレバー操作で植付部を下降させて，ラインマーカを降ろし植付クラッチを**［入］**にすると，再び自動植付作業ができるようになります。

＊ 複雑な切返し，農道での旋回など特殊な旋回をするときは，自動植付スイッチを**［OFF］**にしてください。
そのときは，ポンパレバー操作で植付作業を行なってください。

＊ ①のとき植付クラッチ**［入］**のまま停止してメインキーを**OFF･ON**した場合は，植付クラッチが切れてマスコットランプが**点滅**します。
その状態から旋回する場合は，ポンパレバーで**［上］**操作をすると自動植付が**［切］**になります。バックアップ機能で植付部を上昇させてください。

＊ ②のときメインキーを**OFF・ON**しても自動植付の状態は継続しています。エンジン再始動後も，そのまま自動植付作業ができます。

田植作業のしかた

◆ 変形田での植付作業
進行方向に対してあぜが垂直になっていない場合は，ポンパレバーでの植付作業を行なってください。

◆ 枕地での植付作業
ポンパレバーでの植付作業を行なってください。

メインパネルによる異常と処置

ランプ・計器	警　報		現　　象	処　　置
	ランプ表示 メインパネル	ブザー		
オイルランプ （油圧警報）	点灯	—	● エンジンのオイル圧力が不足しています。 ● そのまま作業を続けると… **エンジンが動かなくなります。**	● エンジンを停止後，オイル量の点検と処置をします。 ● エンジンが焼付きを起こしていますので，購入先へ連絡してください。
植付 クラッチモニタ （植付クラッチ入忘れ警報）	点滅	—	● 植付クラッチが入っていません。	● 十字ポンパレバーを下２段目位置に２回操作します。
マーカモニタ （マーカ出忘れ警報）	点滅	—	● マーカが出ていません。	● 十字ポンパレバーを操作して，マーカを出します。
あぜぎわ クラッチモニタ （あぜぎわクラッチ入忘れ警報）	点滅	—	● あぜぎわクラッチが切れています。	● あぜぎわクラッチレバー**【55・65】**及びあぜぎわスイッチ**【67・87】**を**【入】**位置にします。
苗切れモニタ （苗切れ警報）	点滅	断続 (8 回)	● 苗が残り少なくなっています。	● 苗を補給します。
施肥モニタ （肥料切れ警報） **【F 仕様】**	点滅	断続 (8 回)	● 肥料が残り少なくなっています。	● 肥料を補給します。
施肥モニタ （肥料詰まり警報） **【F 仕様】**	点滅	断続 (8 回)	● 肥料が詰まっています。	● 作溝器内を確認してセンサに付着している異物を取除きます。また，異物がないときは，コントローラ（感度調整用）を調整します。

※詳細は本編の NSU55・65・67・87 の**【取扱説明書】**をご覧ください。

重　要
＊ 処置したあとに異常が直らないときは，購入先へ連絡してください。

補　足
＊ 警報ランプは，異常を処置すると消灯します。
＊ 警報ブザーは断続で８回鳴りますが，警報ブザーが鳴っている最中に他にも異常が発生したときは，そのときから断続で８回ブザーが鳴ります。
＊ 警報ブザーが鳴り終わったあと，警報モニタのランプが**点滅中**に主変速レバーを**【後進】**位置にすると，バックブザーが鳴ります。そのあと，主変速レバーを**【N】（中立）**位置にすると警報（異常）確認のため，警報ブザーが再度８回鳴ります。

コントローラ（自己診断）による異常と処置

表示内容 デジタル表示	異　常　内　容	異常個所	処　　置
E001	植付部の自動水平制御がはたらかない。(モンローがはたらかない。)	ローリングセンサ又は，配線	購入先に連絡してください。
E002	泥押し又は，植付姿勢の悪い状態が続く。(フィットセンサがはたらかない。)	フロートセンサ又は，配線	購入先に連絡してください。
E003	ピッチングセンサ（オートフロート）がはたらかない。	ピッチングセンサ又は，配線	フィットセンサで調節してください。また，作業終了後に購入先に連絡してください。
E005	各条クラッチ（苗のせ台）が動かない。**[67・87]**	各条クラッチセンサ又は配線	購入先に連絡してください。
E006	十字ポンパレバーを操作しても植付部が上昇又は，下降しない。	リンクセンサ又は配線	購入先に連絡してください。
E010	十字ポンパレバーを操作しても植付部が上昇又は，下降しない。	ポンパスイッチ(上昇)又は，配線	購入先に連絡してください。
E011	十字ポンパレバーを操作しても植付部が上昇又は，下降しない。	ポンパスイッチ(下降)又は，配線	購入先に連絡してください。
E012	十字ポンパレバーを操作しても右マーカが降りない。	ポンパスイッチ(マーカ右)又は，配線	隣接マーカで作業してください。また，作業終了後に購入先に連絡してください。
E013	十字ポンパレバーを操作しても左マーカが降りない。	ポンパスイッチ(マーカ左)又は，配線	隣接マーカで作業してください。また，作業終了後に購入先に連絡してください。
E020	モンロー調節ダイヤルを回しても植付部が傾かない。	モンロー角度調節ボリューム	購入先に連絡してください。
E040	昇降ソレノイドがショートしている。	配線	購入先に連絡してください。
E051	自動植付が作動しない。	切れ角センサ 又は配線	購入先に連絡してください。

付表

主要諸元

名称		ウエルスターマックス			
型式		NSU55	NSU65	NSU67	NSU87
区分		— 〈F〉			
駆動方式		４輪駆動			
機体寸法	全長（mm）	3000			3135
	全幅（mm）	2060	2210		2820〈折りたたみ時：2220〉
	全高（mm）	1660			1850
	最低地上高（mm）	430			
機体質量（kg）		570〈620〉	580〈630〉	630〈680〉	730〈780〉

＊この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。
＊〈F〉：施肥機付仕様